

平成26年度野菜需給推進懇談会の概要

1 日 時 平成27年2月18日(水) 13:25~15:20

2 場 所 独立行政法人農畜産業振興機構 南館1階 会議室

3 議事概要

(1) 事務局から緊急需給調整事業の平成26年度の実施状況、平成27年度の実施方針、平成26年度の野菜価格安定対策事業の実施状況等を説明し、また、農林水産省から、平成27年度予算の概要を説明した。

(2) 緊急需給調整事業及び価格安定対策事業に係る発言概要

- ・ 産地廃棄については、場合によってはやむを得ないと思っているが、なるべく産地廃棄をしないためにも、消費拡大は重要。最近の野菜の機能性の話題もあり、全国規模で消費拡大をやっていただきたい。
- ・ 価格安定制度の資金造成に係る負担率について、不足したときの追加造成は事務の負担が大きく、また、短い時間の中で、生産者に理解して頂くのが難しいので、運用上、負担率を選択制にしてもらいたい。

(3) 加工・業務用野菜の取組等に係る発言概要

- ・ 加工・業務用野菜の生産に取り組むにあたっては、大規模化、省力化が重要だが、鉄コンテナを利用した収穫・出荷について、鉄コンテナによる荷受けに対応できない実需者が多く、受け入れ先の体制整備も必要。
- ・ 加工・業務用向けの出荷について、通いコンテナの使用によるコスト削減はコンテナが帰ってこない(回収率が低い)という問題がある。
- ・ 収穫作業に係る経費について、機械の導入に対する補助はあるが、作業受託に係る人件費に対する補助がないので、検討いただきたい。
- ・ 収量を上げるため、加工・業務用向けの品種の開発や、専用品種の作付等について検討している。